

PROTOCOL

プロトコル

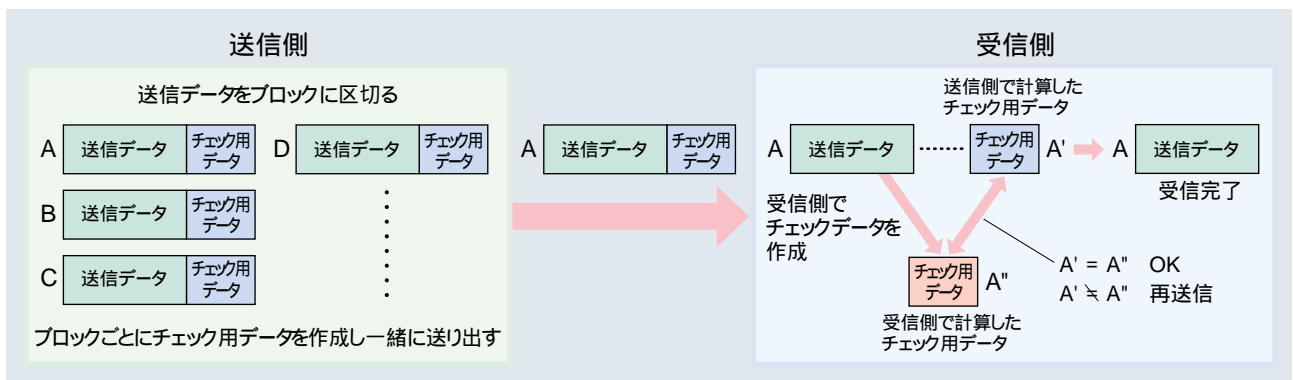


コンピュータ・ネットワーク型社会においては、異なった機種同士で様々な情報・データをやり取りする機会は急速に増加しています。

こうした場合に必要とされるのが、お互いのデータを伝達する際の『約束事』です。例えて言えばデータの電送量・スピード、さらにはデータの終わりの信号。そしてデータが正しく伝達されているかのチェック方法。データの流れのコントロールなどがそれにあたります。

もともとプロトコルとは、人間社会で言う「社交上・外交上の儀礼」といった意味。例えば電話で話し始める時、お互いが「モシモシ」というようなものです。ここで通常の言葉以外を耳にすると戸惑ってしまうように、コンピュータもまた混乱を引き起こしてしまいます。

ではこの世の中にある膨大な種類のコンピュータあるいはネットワークそれぞれが、お互いの連絡に違ったプロトコルを採用したとしたら...。まさに暗号解読にも匹敵する状況が起こってしまいます。これを回避するために進められているのが、ISO（国際標準化機構）が提唱するOSI参照モデルと呼ばれるものです。これはお互いに必要となるプロトコルを機能別に分け階層を構成していることが特長。つまりお互いは、必要とする部分だけを共通認識すれば良い分、ムダな思考の時間を省けるということです。人間に例えて言えば、電話をする場合には、人間は人間の声を認識することで会話が成り立っていますが、電話機は電話機同士の信号を媒介として関係が成立しています。このように、複雑と考えられていたデータ伝送を簡略化することで、将来的にはよりスピーディかつローコストに、大量のデータのやり取りが可能になるものと考えられています。



ファイル転送プロトコルシステム